

問1 日本の東北地方、現在の青森県に位置する縄文時代を代表する遺跡について、その名称と時代の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 三内丸山遺跡 ― 縄文時代 2. 吉野ヶ里遺跡 ― 弥生時代 3. 登呂遺跡 ― 弥生時代 4. 三内丸山遺跡 ― 弥生時代

問2 約1万年前に地球の温暖化が進んで海面が上昇し、日本列島が形成された時期の生活の様子として、最も適切な説明はどれですか。

(2022年 山口県公立入試 類似)

1. 各地で大規模な灌漑施設が整えられ、太陽暦を用いて農作業の時期を管理する生活が始まった。
2. 大陸から伝わった稲作が本格的に広まり、収穫した米を保存するために高床倉庫が作られるようになった。
3. 地面を掘り下げた竪穴住居に住み、弓矢を用いた狩猟や木の実の採集、漁を中心とした生活を営んでいた。
4. 強力な支配者が現れ、自らの権威を示すために巨大な古墳を築き、その周囲に埴輪を並べるようになった。

問3 縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。

(2024年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた
2. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた
3. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた
4. 食料を保存したり、煮炊きを行ったりするための日常的な容器として作られた

問4 縄文時代に作られた土偶の中には、わざと体の一部を壊した状態で発見されるものがあります。このような特徴から推測される、土偶が作られた目的として最も適切なものはどれですか。

(2023年 香川県公立入試 類似)

1. 大陸から伝わった高度な彫刻技術を模倣しようとして、失敗したものを廃棄した残骸。
2. 土器を作る技術が未熟であったため、焼成の過程で自然に壊れてしまったことを前提とした観賞用。
3. 病気や怪我のある部分を壊すことで、その痛みを土偶に引き受けてもらおうとする身代わりの願い。
4. 集落間の争いにおいて、倒した敵の姿を土偶に投影し、戦勝を記念して破壊する儀礼用。

問5 縄文時代につくられた素焼きの人形で、豊かな収穫や病気の回復、魔除けなどを祈るために用いられたとされる遺物を何といいますか。

(2026年 熊本県公立入試 類似)

1. 石包丁 2. 埴輪 3. 銅鐸 4. 土偶

問6 北海道にはその土地の自然環境や地形に由来する地名が多く残されています。例えば、世界自然遺産にも登録されている「知床（しれとこ）」という地名は、ある先住民族の言葉で「大地の先」を意味する「シリエトク」という言葉に由来しています。この独自の言語や文化を持ち、北海道や千島列島などに古くから住んでいる民族の名称を答えなさい。

(2024年 山形県公立入試 類似)

1. 蝦夷（えみし） 2. アイヌ民族 3. 渡来人 4. 琉球民族

問7 縄文時代に見られる「土偶」と、後の古墳時代に見られる「埴輪」を比較した説明として、正しいものはどれですか。

(2019年 山形県公立入試 類似)

1. 土偶は、豊かな収穫や安産などのまじないのために縄文時代に作られたが、埴輪は古墳の主の供養や魔除けとして古墳時代に作られた。
2. 土偶は、弥生時代に稲作が伝わった際に祭祀用として広まったが、埴輪は縄文時代に集落の守り神として置かれた。
3. 土偶は、古墳の内部に副葬品として納められたが、埴輪は住居跡から発見されることが多く、日常的な食器として使われた。
4. 土偶は、大陸から伝わった金属器の影響を受けて作られたが、埴輪は日本独自の土器文化から発展した石製品である。

問8 青森県に位置する縄文時代最大級の集落跡についての記述です。この遺跡では、直径約1メートルもの栗の木の柱を用いた巨大な掘立柱建物跡や、当時の人々が居住した大型のたて穴住居跡が数多く発見されています。この遺跡の名称として正しいものを選びなさい。

(2024年 福島県公立入試 類似)

1. 登呂遺跡 2. 三内丸山遺跡 3. 岩宿遺跡 4. 吉野ヶ里遺跡

問9 約1万以上続いた縄文時代の生活スタイルと、そこで使われた道具の関係について、正しい説明はどれですか。

(2024年 熊本県公立入試 類似)

1. 文字が発明されたことで、法律や契約に基づいた高度な都市生活が営まれた
2. 磨製石器や弓矢、土器などが使われ、自然環境に合わせた定住生活が行われた
3. 大型の石造建築が造られ、それらを装飾するために精巧な土器が発達した
4. 青銅器や鉄器が普及したことで、大規模な戦争や移動生活が繰り返された

問10 縄文時代に作られた、まじないや豊かな収穫、安産などを祈るために用いられたとされる、人や動物をかたどった土製品を何といいますか。

(2019年 山形県公立入試 類似)

1. 埴輪 2. 土偶 3. 青銅器 4. 石包丁

問11 山形県の西ノ前遺跡から出土した「縄文の女神」に代表される、縄文時代に作られた土製の人形について、その名称と当時の人々が込めた願いの組み合わせとして正しいものはどれですか。

(2019年 山形県公立入試 類似)

1. 銅鐸 ― 稲作の豊作を願う祭りの道具とするため
2. 埴輪 ― 亡くなった王の権威を示し、供養するため
3. 土偶 ― 豊かな収穫や安産を祈るため
4. 勾玉 ― 魔除けや身分を示す装飾品とするため

問12 約1万年前に氷期が終わり、日本列島の周辺環境が変化した際の様子について説明した文として、適切なものを選択してください。

(2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 大規模な地殻変動が起こり、日本列島は大陸から切り離されて島国となった
2. 気候が温暖になり、海面が下降したことで沿岸部に広大な平野が形成された
3. 気候が寒冷になり、海面が下降したことで日本列島はユーラシア大陸と陸続きになった
4. 気候が温暖になり、海面が上昇したことで日本列島は現在の姿に近づいた

問13 三内丸山遺跡の調査結果から推測される、縄文文化の生活や社会の様子について正しく説明しているものはどれですか。

(2024年 福島県公立入試 類似)

1. 大規模な灌漑設備を用いた水田稲作が普及し、食料を蓄えるための高床倉庫が主流となった。
2. 豊かな自然環境を背景に、狩猟・採集・漁労を行いながら大規模な定住生活を営んでいた。
3. 前方後円墳などの巨大な墳墓が築かれ、広域を支配する強力な王権が誕生していた。
4. 大陸から青銅器や鉄器が伝わり、武器や祭具として使用されることで集落間の争いが激化した。